

名詞の取り扱い：数と冠詞

テクニカルドキュメンテーションII

2025.05.23 Kenichi Wakabayashi

英語では名詞の「数」や「冠詞」の扱いが日本語と大きく異なる。
ここでは、名詞の数と冠詞の扱いについて学びます。

英語の名詞は「数」を明確に表す

- 日本語では単に「ノートパソコン」で済むが
- 英語では `a laptop computer` や `laptop computers` のように数の明示が必要

名詞を数えるには？

- 名詞を「個体として」扱うか
- 「形あるもの」として扱うか
- 可算か不可算かを判断する必要あり

数に関する判断①

- (a) 形あるものとして表すべきか
- (b) どのような用法があるか

(a) 形あるものとは？

- 例：
 - 1本の鉛筆
 - まとまりの情報
 - 温度条件（100°Cなど）
 - 金属の塊

(b) 名詞の用法のタイプ

1. 可算(countable) (例: pencil)
2. 不可算(uncountable) (例: information)
3. 両方の用法あり (例: metal)

不可算名詞を数えるには？

- piece, item などの「単位語」を使う
 - a piece of information
 - an item of information

✔ 可算名詞 (Countable Nouns)

名詞	解説	例文
apple	明確に数えられる個体	I ate two apples .
chair	形あるもの	We bought three chairs .
idea	抽象だが個数で表現可能	She had a great idea .
email	通数で数える	I sent him five emails .
mistake	複数形で表現できる失敗	He made several mistakes .

✕ 不可算名詞 (Uncountable Nouns)

名詞	解説	例文
water	液体で個数を持たない	She drank some water .
information	抽象的なまとまり	This is useful information .
advice	助言は個別に数えない	He gave me some advice .
equipment	機器全体として扱う	The lab has new equipment .
furniture	家具の集合体	We bought some furniture .

🤔 判断に迷いやすい名詞①

名詞	可算での使い方	不可算での使い方
paper	I handed out three papers .	Paper is made from wood.
hair	I found a hair in my soup.	She has beautiful hair .
time	I visited her three times .	Time flies.

🤔 判断に迷いやすい名詞②

名詞	可算での使い方	不可算での使い方
light	Turn off the lights .	There was little light in the room.
work	He created three works of art.	I have a lot of work to do.
chicken	We have two chickens in the yard.	We had chicken for dinner.

✓ まとめ

- 可算名詞 → a/an, 複数形にできる
- 不可算名詞 → some, much, a lot of を使う
- 名詞によっては **両方の用法** がある
- 文脈と意味に注意！

冠詞

9. 英語は「冠詞」を決定して書く

- 英語では名詞の前に必ず冠詞（a/an, the）を置く必要あり
- 例：I bought a laptop.

10. 冠詞の使い方

- the = 特定できるもの
- a/an = 特定できないもの（1つ）

11. 冠詞の判断：既出・唯一性

- 2度目の登場 → the
- 唯一の存在 → the

12. 冠詞の判断：属性・種類

- 名詞の属性を示す場合（例: 電子レンジの構造） → the
- 種類を表す場合（例: a transistor） → a/an

13. the の使用例

- the power switch (電源スイッチ)
- the finite element method (有限要素法)

14. the を使わない場合

- 不可算名詞を種類として扱うことはできない
- × the water is drinkable → the は使えない

the の発音ルールと迷いやすい例

「the」の発音には2種類ある。使い分けの基本は「次の語の発音」で判断。

基本ルール

発音	次の語の音の種類	例
/ðə/	子音の音で始まる	the car, the table, the book
/ði/	母音の音で始まる	the apple, the end, the idea

※スペルではなく「音」で判断！

迷いやすい例①（スペルと発音のギャップ）

フレーズ	正しい発音	理由
the university	/ðə/	「ju:」で始まる → 子音の音
the hour	/ðɪ/	「h」を発音しない → 母音音始まり
the honest man	/ðɪ/	「h」を発音しない
the European Union	/ðə/	「ju:」で始まる → 子音の音

迷いやすい例②（頭字語や略語）

フレーズ	正しい発音	理由
the MVP	/ði/	「エム」 → 母音音
the FBI agent	/ði/	「エフ」 → 母音音
the SOS signal	/ði/	「エス」 → 母音音
the x-ray machine	/ði/	「エックス」 → 母音音

the の発音まとめ

- /ðə/：次の語が子音の音で始まる
- /ði/：次の語が母音の音で始まる
- スペルではなく **発音** を聞くこと！